



Change! 2022 推進委員会 2020. 12. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「新宿に東新部の新クラブ設立を目指して」

東新部 エクステンション委員長

太田 勝人 (東京町田スマイリング)



私は、東新部部長時代(2014-2015)に東京白金高輪クラブと東京銀座クラブの閉鎖を経験しました。自分の非力と責任を痛感しました。是非とも2つの新クラブ設立に携わって、マイナス2からイーブンに持っていきたいと心に誓いました。

一つ目は東京町田スマイリングクラブに関わり、二つ目は「(仮)新宿地域ワイズメンズクラブ」設立を現実化することでした。新宿地域への設立は、東京 YMCA 本部が東陽町から新宿西早稲田に移転されたことが理由でした。

早速、東京 YMCA 山手センター、山手学舎 OB 会、早稲田奉仕園等々を訪問してプレゼンをしましたが進展せずにはいましたところ、2019 年夏の終わりごろ、東京むかでクラブの例会参加後、伊丹一之ワイズと地下鉄で一緒になり色々と話していたら「早稲田教会のオレオス会の皆さんを紹介しよう」との貴重な情報を頂き、伊丹さんの尽力で、2019 年 11 月 30 日、早稲田教会の古賀博牧師はじめ 21 名の方々にお会いできて、ワイズの理念・目標並びに YMCA との関係などを記したパンフレットコピーを配布して、プレゼンをさせて頂きました。

「太田さん、次回 2020 年 3 月 7 日の会合にも是非いらしてください」との若槻史郎オレオス会会長、森清隆幹事のお言葉でその日を待っていましたが、2月以来コロナ禍のため会合が持っていません。

私は東京世田谷クラブにお世話になり、「YMCA すずらん会」という 17 年継続している歌声広場の受付の一人として活動して来ました。世田谷で3か所、横浜とつかクラブ、東京町田コスモスクラブ(シャロームの家)、厚木クラブ、埼玉クラブ、神戸ポートクラブ等々に、小川

圭一夫妻が始めた童謡・唱歌約 290 曲を JASRAK の許諾を得て、各クラブは活用されて今に至っています。これが財産の一つで、新宿クラブが出来ましたら活用させてもらい、一段とすずらん会の精神が新宿地域に広がっていくのを夢見しています。

会員増強には王道はありませんが、①「新クラブを創ってワイズ運動を広めよう」という強い思いを持つこと、そして②「戦略を考え、ワイズの楽しさを伝え、かつ世界の会員とも繋がっていることなどを伝えて」、とにかく“行動すること”だと思っています。

その時に、甲府クラブの故・平原貞美大先輩の行動と実績を胸に秘め、EMC に励み、かつ「小堀憲助先生の奉仕クラブの基本的問題について」学び続けて、Change! 2022 に参加して貢献したいと意気込んでおります。

《 太田勝人さんのプロフィール 》

1940 年 1 月 愛知県生まれ

1962 年 早稲田大学を卒業と共に「ヤマハ」に入社。主に海外畑を歩み、ドイツ(ハンブルグ)と USA(ロスアンゼルス)に駐在

2010 年 8 月 横浜で開催の第 69 回国際大会を見るように東京世田谷クラブ張替滋夫ワイズから紹介されて、一日見学

2010 年 12 月 東京世田谷クラブ入会
クラブ会長、東新部 EMC 事業主査、東日本区国際・交流事業主任、また京都国際大会でマーシャルを経験

2019 年 2 月 24 日 東京町田スマイリングクラブがチャーターナイトを迎え、東京世田谷クラブから転入し、初代会長を務めた。

現在は、東新部エクステンション委員長、LT 委員長を務めている。

「東新部 EMC セミナー」開催

日時：2021 年 2 月 20 日(土) 13:30~17:00

場所：東京 YMCA 東陽町センター 1 階

内容：発題とワールドカフェ形式での議論・発表

▼ 甲府ワイズ文庫より



1 ページの東新部エクステンション委員長・太田勝人さんの文章の終段に登場する、クラブ作りの名手と言われていた甲府クラブの故・平原貞美ワイズが2009年1月24日に発表された文献が、甲府クラブの「文庫2」に収録されていますので、ここにご紹介いたします。(Change! 2022 ニュース編集長・伊丹一之)

「東日本区チャレンジ 2000 決起大会」 EMC・甲府クラブの戦略

～たくましいクラブ作りとは～

2008-2009 東日本区 EMC 事業委員

平原 貞美 (甲府)

1. 現在の社会情勢とワイズの存在は無縁ではない

- ・生活の多様化、少子高齢化、経済危機による不況等は、国際奉仕団体(ロータリー、ライオンズ、ソプロチミスト、JC 等)に、会員減少の大きな影響を与えている。
- ・今や、会員獲得競争にまで発展する厳しい現状を認識する必要がある。

2. ワイズのEMCは戦略なくして方策なし

- ・ワイズの知恵を結集し、発想の転換を図り、新たな切り口を考える。

3. まず、しなければならないこと

- ・一人一人がクラブの現状を検証し、これでよいのか考える。
- ・ワイズの素晴らしさを多くの人に呼び掛ける決意を。

4. EMCはクラブの総合力で立ち向うべし

- ・会長が数値目標を示し、強力なリーダーシップで連帯感を。
- ・EMC 委員が実動部隊の牽引者となり、意欲を盛り上げる。

5. 戦略的手法の立案

- ・時代や地域環境が異なるクラブの立地条件は千差万別、だからこそ戦略が必要となる。

6. 戦略的手法の手順

6-1. クラブの立地基盤とは

- ・一部の大都市型クラブを除いて、ほとんどのクラブは地方型である。
- ・地域奉仕の地道な実践で地域に貢献し、認知されること。
- ・これは YMCA をサポートする上でも必要である。

6-2. 地域のマーケティングを実施

- ・人口やその構成比
- ・地域の特性(住宅地、商業地等)
- ・青少年や福祉に関する行政の施策

- ・他の奉仕団体の実体
- ・地元メディアの影響力、等々の調査分析
→ 有為な人材を探し出すためにも、活動拠点となる地域のことを知ることは必要

6-3. 名簿づくりの準備

- ・市場調査の分析を会員に説明し、候補者名簿の作成の準備に入る。
- ・全会員に所定の用紙に候補者を人員制限なしに推薦してもらう。
- ・その場合、直接関係のない人材でもよい。(〇〇商店の主人、△△会社の社長の息子、□□医院の先生等々)
- ・思いつくまま、目につくまま → これが大切

6-4. 望ましい会員構成

- ・東日本区定款第3条第4項(現定款第6項)「クラブの会員構成は、同一業種に偏らず、できる限り多くの職業分野にわたるように努めるものとする」
- ・色んな業態・業種の中から豊富な経験、高い識見、広い人脈を備えた人材を見出すことは、会員の資質を高め、価値ある地域活動の原動力になる。

6-5. YMCAとの関わりに目を向けてみよう

- ・YMCA の元会員(数十年前の幼児・少年グループ等)には地域で活躍している人も多い。
- ・YMCA の資料を調べ、呼び掛けよう。

6-6. 名簿の作成と公開

- ・氏名、職業(業種)、住所を記載した一覧表を作成し、会員に公開する。
- ・この中に少しでも関係する候補者がいたら、その会員名を書いてもらい回収する。
- ・候補者のランク付けを行なう。(会員の関係が複数ある、クラブにとってぜひ必要な人)
- ・一覧表はメネットにも見せて欲しい。意外な関係が発見できる。

6-7. 名簿ができたなら行動計画に移る

- ・候補者の訪問を始める。その際、関係する会員の他複数(EMC 委員等)の会員で行く。
- ・その場に家族、特に夫人がいたら同席してもらう。
- ・EMC キット(ワイズ勧誘のしおり、クラブや YMCA のパンフ、ブリテン等)を持参

6-8. 例会への誘い

- ・1~2 回の訪問で感触がわかる。どんな美辞麗句を並べても、兎も角例会へ誘い出す。
- ・会長名で例会への招待状を出す。(例:「あなたは我がクラブにとってぜひ必要な方です...」)

7. EMCは永遠の課題であり義務である

- ・会員増強を怠ったクラブは衰退する。
- ・根気と粘り、執念ともいえる情熱
- ・答えは、Yes, We can!

▼ 各部 会員増強事業主査より

「ワイズ活動を外向きにしよう」

東新部主査 村野 繁 (東京世田谷)



EMC の M の増加期待数をぶち上げて、増加していないのが数年続きました。

そこでわたしは考えました。

ワイズ活動を外部にアピールしよう。それによって仲間、メンバーを増やそう。すなわち地域奉仕・YMCA サービス事業を活性化して、その結果メンバーが増えることになる。各クラブは特徴のあるCS活動をしています。

東京クラブは東京 YMCA と共に江戸城ウォーク等。東京むかでクラブは川口こども食堂、山中湖キャンプ場でのシニア Y・Y・Y キャンプ等。

東京世田谷クラブは歌声広場を各地で実施。

東京町田コスモスクラブはうたごえ広場、地域の夏祭り、子ども科学実験教室、クリスマス祝祭。

東京センテニアルクラブはオリーブ平和映画祭等。

東京多摩みなみクラブはプランター栽培講座、YMCA 支援のべたべたの会、チャリティーラン等。

東京町田スマイリングクラブは歌声サロン他、地域に根ざしたプログラムを計画しています。

しかし、昨今の新型コロナ禍騒ぎで、中止の活動がほとんどです。ハイブリッド活動を実施したクラブもあります。これらの結果が出る期末が楽しみです。

▼ 東京江東クラブ ブリテンより

積極的な交流を —ワイズ理解のために—

Change! 2022 推進委員 藤井 寛敏 (東京江東)



ワイズメンズクラブ国際協会は、1922 年アメリカ・オハイオ州トレド市で YMCA の会員によって設立され、その目的は、「イエスキリストの教えに基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて、あらゆる信仰の人々が共に働く、世界的友好団体であり、YMCA に対する忠誠心を共にしつつ、

活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、供給して、全人類の為よりよき世界を築くべく尽力するものである。(国際憲法抜粋)。日本においては、1928 年に大阪にクラブができたのが始まりである。

現在、全世界には約 70 ヶ国に約 26,000 名のメンバーが、我々が属する東日本区には 61 クラブ、約 850 名

が活動している。

そのほか細かく知るには、国際協会の Web や東日本区の Web、HANDBOOK & MEMBERSHIP ROASTER を見れば知ることが出来る。

しかし、これらのことはある程度知っておく必要はあると思うが、知っているかと言ってワイズのすべてを理解できたことにはならない。

特徴的なことは、各クラブが YMCA を様々な形でサポートしたり、独自の奉仕事業を展開していることである。即ちその活動は多様なものであり、それだけメンバーも多様性に富んでいることである。

まずはクラブ例会への出席はメンバーの義務の 1 つであることを自覚し、メンバーと共に活動をし、交流し、親睦を深め、そのエネルギーで世間のため、人様のためになるような活動を行う。役員になった人は会長を先頭に任期の 1 年間は出席の優先順位を上位にして、例会には 100% 出席を目標としてリーダーシップを発揮することが他のメンバーを鼓舞し、クラブの活性化につながる。そして部の評議会、部大会、区大会、国際大会などに出席することによって、他のクラブメンバーとの交流の機会を持つことが出来る。部、区の役員を経験することで、より多くの人との交流の機会に恵まれる。それこそがワイズ理解の必須科目である。

最初は義務としてあまりなじめないところがあると思うが、それはどのような世界でも同じである。2 回 3 回と続けるうち、知り合いも増え、楽しみながら大げさに言えば全人類の為に、よりよき世界を築こうと行動している様々な職業を持つ多様な人たちと出会い、それぞれの人生に彩を添えるであろう。中には一生の友を見つけることもできるであろう。私もその一人である。

この楽しい交流を通じてワイズの良い点、改革が必要な点など、ワイズ理解につながると確信している。このような活動をより広げたいという心が会員増強へとつながるのである。

全世界に志を同じくする多様な人がある、その一つの集まりがワイズメンズクラブである。

現在は新型コロナ禍で思うような活動も交流もできないが、こういう時にこそ各クラブが発行する「ブリテン」(発行者の責任感には頭が下がる)や、Change! 2022 が毎月発行する「ニュース」(いずれも東日本区の Web に掲載)を熟読して充電し、After Corona の活動に備えたら如何であろうか。

Change! 2022 卓話の出前いたします!

問い合わせは栗本治郎 Change! 2022 委員長まで

090-3309-6613 kurijerk@outlook.jp

▼ 石巻広域クラブ ブリテンより

新入会員の皆さま、ようこそ！

～ワイズライフを楽しみ、そして奉仕へ～

クラブ会員増強委員長 石川 光晴（石巻広域）



まもなく東日本大震災から10年、当クラブは2016年5月にチャーターして5年、23名でスタートしましたが、その後、病気や震災後の不況などが影響し、何人かの会員が退会しました。今年度大林健太郎会長は、メンバーがそれぞれの役割と個性をもって、互いに励まし合い、助け合い、祈り合い、共に喜びを見出すために視座(姿勢)の転換を図ろうと呼びかけ、復興支援のための3.11メモリアルプロジェクトや、さまざまな記念プログラムが現在進行中です。

まもなく東日本大震災から10年、当クラブは2016年5月にチャーターして5年、23名でスタートしましたが、その後、病気や震災後の不況などが影響し、何人かの会員が退会しました。今年度大林健太郎会長は、メンバーがそれぞれの役割と個性をもって、互いに励まし合い、助け合い、祈り合い、共に喜びを見出すために視座(姿勢)の転換を図ろうと呼びかけ、復興支援のための3.11メモリアルプロジェクトや、さまざまな記念プログラムが現在進行中です。



【11月23日の例会で入会された新入会員の皆様】

4名の新入会員と1名の転入会員の皆さま、ようこそ石巻広域クラブにご入会くださいました。世界70カ国、約1500のクラブ、約2万6千人の仲間と繋がりました。ワイズメンズクラブは2022年に創立100周年を迎えますが、国際協会では“Challenge 22”を、東日本区では“Change! 2022”の会員増強を主体としたプロジェクトを推進中です。クラブは人と人との出会いの場です。その出会いを楽しみ、お互いを尊重し、励まし合い、時代の変化を恐れず、ワイズライフを楽しみ、そして奉仕へと繋がしましょう！

[\(5\) 石巻広域ワイズメンズクラブ | Facebook](#)

▼ 甲府21クラブ ブリテンより

新入会おめでとうございます

「私とワイズ」 新入会員 小俣 寛（写真左）

令和2年8月に貴重なご縁を得て繋がりができ、本日入会させていただきました。

職を退いて4年目を迎えた現在、お世話になってい

る地域に、芸能文化の種を蒔くことができたらと願い、芸能イベントの企画や公演の開催など、ささやかな活動を展開しているところです。

歴史と実績ある甲府21ワイズメンズクラブの一員として、どれほどお役に立てるか分かりませんが、会員の皆様との交流を広げつつ、これまでの経験を生かして、クラブの活動に少しでも貢献できたらと願っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

「私とワイズ」 新入会員 市川 将来（写真右）

山梨に来て15年になります。私は以前10年ほどボーイスカウトに所属しており、YMCAの方々とお会いする機会もあったのですから、こういった形でワイズメンズクラブのボランティア活動に関われることも、ご縁と言いますか、ありがたく思っております。

家族や自分のことさえ満足に出来ているとは言えない私ではありますが、Volunteerの本来の意味は「自発的」という事でしょうから、自分にできる範囲で楽しく活動をしていけたらと思います。

よろしくお願いいたします。



【創立30周年記念例会で行われた入会式の模様】
（※甲府21クラブでは今期11月までに5人が入会しました。）

[\(5\) 甲府21ワイズメンズクラブ | Facebook](#)

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 伊藤 幾夫（東京多摩みなみ）

11月には、下記の方が入会されました。（敬称略）

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	市川 将来	(甲府21)	宮岡 宏美
2.	小俣 寛	(甲府21)	宮岡 宏美
3.	姉齒 一紀	(石巻広域)	石川 光晴
4.	千葉 直美	(石巻広域)	清水 弘一
3.	福島 和州太郎	(石巻広域)	青木 満里恵
6.	南 奈央子	(石巻広域)	石川 光晴
No.	転入会者	(クラブ名)	
1.	川上 直哉	(石巻広域)	仙台青葉城より転入